



## 人生デザイン

### つながる 11 障害者発の名産品

障害者が働く福祉施設の商品を買ったことはありますか。大量生産ができない分、ていねいに作られていて、専門の販売店も出始めました。商品力アップに力を貸すプロも現れていま

〇〇〇

東京・阿佐ヶ谷駅のガード下。商店街の奥にその店はある。平日午後6時過ぎ、家路を急ぐ人たちが一人、二人と立ち寄っている。店の名は「にぎやかな風」。全国の福祉施設で作られた商品を販売する。9坪ほどの小さな店内に、パンやお菓子、雑貨など400以上の商品がひしめく。「このあげもちは、作業所で米作りから餅つきまで

やっている。添加物ゼロを保証します」「このカレーはタマネギを長時間炒めて、自分たちでスパイスを調合している。絶品ですよ」。店長の茶谷恒治さん(39)の説明に熱がこもる。開店は昨年9月。福祉施設で働いていた茶谷さんの長年の夢だった。

## 商品力 善意超えた

店に置くかどうかの基準は「商品力」。すべて自ら試し、吟味する。ものがよければ継続して買ってもらえ、障害者の自立にもつながるからだ。店の採算はギリギリだが、茶谷さんは店舗が、福祉施設と消費者の接点になっていると感じる。買ひ物に求めている川崎市中原区のミュージシャン松本健太郎さん(33)はいう。「ファストファッションなど激安の商品に違和感を持ってたときにこの店を知り、国内版のフェアトレード(公正取引)だと思った」。東京都世田谷区のベンチャー企業、ソーシャルエナジーが2009年11月から始めたネット通販サイト「美味い社会貢献」。福祉施設で作られたお菓子のギフトやたね油、スモークサーモンなど20種類を扱う。横浜市の施設が、日本酒「獺祭」で有名な山口

### カフェ・専門店 プロの指南も

県の旭酒造から酒かすを仕入れてクッキーにした「獺祭・バナラクッキー」が人気。商品力があり、採算がとれるものを選んでいく。代表の木村知昭さん(35)は元飲食店の社員。先輩社員が事故に遭い、作業所で働く様子を見てきたことが今につながった。「障害者を助けようという気持ちでなく、いい商品だと思っただけで買っただけ」。昨年3月には商品を食材に使ったカフェも、会社のそばで始めた。セミナーやNPOの発表会にも開放、新たな交流も生まれている。「お客さんから『ソーシャルな出会い系』と呼ばれるようになりました」。施設側も商品力に磨きをかける。障害者が年間5、8回の講習で洋菓子作りを学ぶプロジェクト「神戸スウィーツ・コンソーシアム」(日清製粉、社会福祉法人プロップ・ステーション共催)。3年目の今年度は東京での講習内容を、名

### 「にぎやかな風」店長のおすすめベスト5

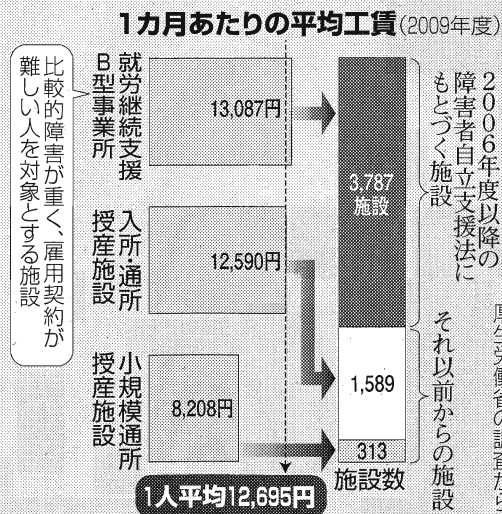
|     |                                  |  |
|-----|----------------------------------|--|
| 第1位 | <b>マグカップ</b> 1200円               |  |
| 第2位 | <b>サラダ小松菜</b> 300円               |  |
| 第3位 | <b>乾燥えのき</b> 150円×300円、500円×750円 |  |
| 第4位 | <b>紀州天然だし</b> 100円×10パック530円     |  |
| 第5位 | <b>動物マグネット</b> 各260円             |  |



茶谷恒治さん



一流のシェフから菓子作りを学ぶ「神戸スウィーツ・コンソーシアム」の参加者たち



グラフィック・白岩 淳 / The Asahi Shimbun

「原材料費・諸経費・利益で価格を決めるのは、障害者であっても同じ。受講生たちの腕前も、1年で驚くほど成長します」。13年ほど前に統合失調症になり、神戸市北区の福祉施設で働く内海友人さん(35)は、1年目の受講生。昨年、施設がケーキ店「スウィーツファクトリー」へと地元駅前へ移った。内海さんは今、そこで腕をふるう。「売り上げがよくなるとうれしいし、お客さんにリピーターになってもらいたいと思うと、手抜きはできません」(小林未来)

### 次週は「フリーペーパーが結ぶ」ご意見・情報募集

新たな縁づくりを紹介するシリーズ「つながる」。次週は「フリーペーパーが結ぶ」です。ネット社会にあって、紙の無料情報誌に魅力を感じて発行する若者らに迫ります。シリーズへのご意見や情報は「人生デザイン」係(ファクス03・5540・7354、メールsonaeru@asahi.com)まで。氏名、電話番号、住所、年齢、職業を書き添えてお寄せください。

Job Labo ジョブラボ  
http://joblabo.asahi.com/

DOOR DORAKU  
http://doraku.asahi.com/

「68歳は閑である。淋しい? 冗談ではない。」

役にたたない日々

佐野洋子

朝日文庫 ● 定価606円(税別)  
ISBN978-4-02-264588-3

この先長くはないと思うと、天衣無縫に生きていく、思っているならぬことを思い、余命2年と宣告された婦人、道に外車のジャガーを、購入したエピソードのほかに、堂々と孤独に生きる老境の豪快な日々を綴った超痛快エッセイ!

お求めは書店、ASA(朝日新聞販売所)でどうぞ。  
http://publications.asahi.com/

ASAHI 朝日新聞出版